

～ 製品の特長 ～

- 標準電波を受信してカレンダーと時刻を自動修正
- カレンダー・温度・湿度表示

お買い上げいただきありがとうございます。

お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

アフターサービスなどについてご不明なことがありましたらお客様相談室にお問い合わせください。お問い合わせに際しては、製品番号(型番)「RZR100」をお伝えください。

発売元 **リズム時計工業株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番12
http://www.rhythm.co.jp

お問い合わせ先 **お客様相談室 0120-557-005**
受付時間 9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

CITIZEN はシチズンホールディングス株式会社の登録商標です。


(Y0906)

安全にお使いいただくために(はじめにお読みください)


ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

■表示の説明について

表示内容を無視して、誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、下記の表示で区分して説明しています。


 この表示は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。


 この表示は、してはいけない「禁止」内容です。

 この表示は、「傷害を負う可能性または物的傷害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

 この表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。


■誤飲による事故防止について

 小さな部品や電池は、幼児の手の届かぬ所に置かないでください。万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。


 分解したり改造しないでください。故障の原因になります。

 本製品は精密機器です。落としたりして衝撃を与えないでください。故障や破損の原因になります。

液晶表示板について

 表示部が破損して液晶が手などについた場合は、石鹸でよく洗い流してください。口や目に入ったときは、きれいな水で洗い流し、すぐに医師の治療を受けてください。

■使用場所について

 下記のような場所では使わないでください。
機械やケース、電池の品質が低下し、精度不良や時計、電池の寿命が短くなります。

- 温度が+50℃以上になる所。例えば、長時間直射日光のあたる所や暖房器具等の熱風や火気に近い所。
- 温度が-10℃以下のところでは、プラスチックが劣化したり、電池の性能が低下することがあります。
- 浴室など湿気が多いところ。
- ほこりが多く発生するところ。
- テレビ・OA機器・オーディオのそばなど強い磁気が発生する所。磁気の影響で、時計の進みや遅れが生じたり、止まることがあります。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- 温泉場など、ガスの発生する所。
- 多くの油を使用する所。霧状になった油分がケースや機械部に付着し、汚れや止まりの原因になります。
- 時計を軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、相互に色移りしたり、付着することがあります。

おもな製品仕様

使用温度範囲	-10～50℃ 液晶表示可読温度範囲0～40℃	表示の切り替え	12時間/24時間制表示切り替え 時刻、日付表示位置切り替え
時間精度	表示精度 標準電波受信直後 ±1秒 標準電波を受信しない場合 平均月差±30秒(常温中のクォーツ精度)	アラーム	アラーム精度 表示時刻に対して±0秒 アラーム音 電子音(鳴り方が変化) スヌーズ機能(止めてもまた鳴る) オートストップ(自動停止) アラーム音モニター
使用電池	単三形マンガン乾電池 JIS規格R6P 2個	カレンダー	2009～2099年まで対応
電池寿命	約1年 アラームを30秒/日、照明を3秒/日使用	温度表示	表示範囲 -9.9～+50℃ 測定範囲での精度 ±2℃
標準電波	標準電波受信により自動時刻修正 福島局/九州局自動選択 電波受信機能ON/OFF切り替え 受信回数 1日8回 受信時刻 1時、2時、3時、4時、13時、14時、 15時、16時の各時間帯の16分40秒に 受信を開始	湿度表示	表示範囲 20～95% (温度が5～50℃のとき) 測定範囲での精度 ±10%
		照明機能	ライトボタンにより、約3秒間液晶表示面を照明

※液晶はその特性上、0℃以下になると表示反応が遅くなり、表示が薄くなる場合があります。40℃以上になると表示が濃くなり、ムラに見えることがあります。

※液晶表示板は5年を過ぎると、コントラストが低下して数字が読みにくくなる場合があります。

※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品
単三形マンガン乾電池 2個 取扱説明書 本書 保証書 1枚

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。つぎの記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。

- 修理部品の保有について
この時計の修理用性能部品(電子回路など)は製造打ち切り後、3年間で基準に保有しています。ただし、外装部品(ケース類)の修理には、類似の代替品を使用したり、現品交換させていただくことがあります。
- 修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料修理が可能です。ただし、修理には販売店と修理工場の往復運賃・諸掛り費用も加わり、商品により修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。
- 転居または贈答品の場合
転居または遠隔地からの贈答品で、お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、お客様相談室にご相談ください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

電波時計について

電波時計とは

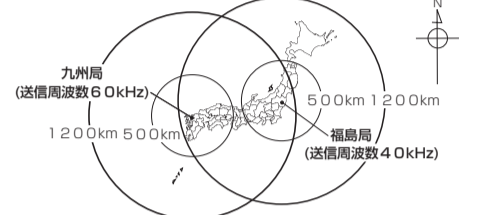
電波時計は、正確な時刻およびカレンダー情報をのせた標準電波を受信することにより、自動的に表示時刻を修正し正確な時刻をお知らせする時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。※標準電波の時刻情報は、およそ10万年に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。標準電波送信所は、福島県の「福島局:おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局:はがね山標準電波送信所」の2カ所あります。

電波の受信範囲について

送信所から約1200km離れた場所でも受信可能です。ただし、受信範囲であっても電波障害(太陽活動、季節、天候、置き場所、時間帯(昼/夜)あるいは地形や建物の影響など)により、受信できないことがあります。



この時計は福島局と九州局に対応しており、標準電波を自動選択して受信します。

※標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。(http://jy.nict.go.jp)

電池のご注意(電池の正しい使い方)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう





- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 種類の異なる電池を混ぜない。
- 長期間使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 幼児の手が届かないところに置く。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いていても定期的に交換する。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 電池を新しくするときは、全部取り替える。

電池の種類について


- 本製品は電池の特性に合わせて設計されています。指定以外の電池では、製品仕様を満たさない場合や正常に機能しないことがあります。
- アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。ⓧアルカリとマンガン乾電池の混在使用は液もれの原因となりますのでおやめください。
- 一般に充電の電池は電圧が低く、時計には不向きですので使用しないでください。
- 一部の高性能電池では、初期電圧が高く時計には不向きなものがあります。(例:Panasonic オキシライド乾電池)


取り扱いについて

電池からの液もれや発熱、破裂を防止するために、つぎのことをお守りください。

-  ●電池に傷をつけたり、分解しない。
-  ●電池を充電しない。
-  ●電池をショートさせない。
-  ●時計が止まったらすぐに電池を取り外す。

液もれが起きてしまったとき

 電池からもれた液が目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療をうけてください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。

 もれた液に直接触れないでください。特にアルカリ乾電池には注意してください。ゴム手袋をして電池をはずし、もれた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要なときはお買い上げの販売店または当社お客様相談室にご相談ください。

電池の寿命について

- 付属の電池は、工場を出荷するときに入れていますので、製品仕様より短い期間で電池切れになることがあります。
- 使用環境の温度などにより、製品仕様より電池寿命が短くなる場合があります。
- 買い置きした電池を使用した場合、保管状態や乾電池に示されている「使用推奨期限」により、電池寿命が短くなる場合があります。

電池の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定にしたがってください。

 火に入れると破裂の原因となり危険です。

お手入れについて

- 汚れがひどいときは、水でうすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。
- ケースなどのよごれ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

時計の廃棄

- お住まいの地区自治体の指定にしたがってください。

静電気の影響について

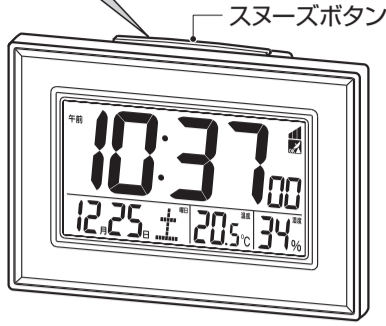
静電気の影響により正常に機能しなくなることがあります。このようなときにはリセットボタンを押ししてください。

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対してなんら責任を負いません。

1 電波を受信して時刻を合わせる

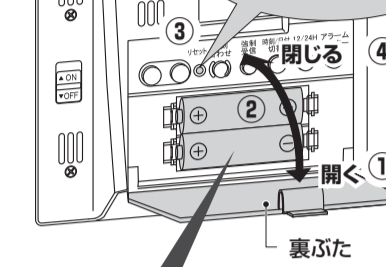
図は操作説明用ですので実際の商品と異なることがあります。

スヌーズボタンは、ライトボタンを兼ねています。ボタンを押すと、約3秒間液晶表示面を照明します。

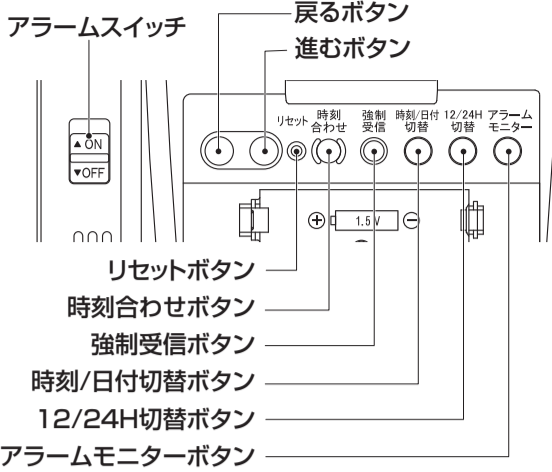


液晶表示は見る角度によって、見えにくかったり、ムラに見えることがあります。

先の細いボールペンなどで押してください。



電池ホルダーの⊕⊖に合わせて電池を入れます。⊕⊖を逆向きに入れると、電池の液もれ、発熱、破裂の原因になります。

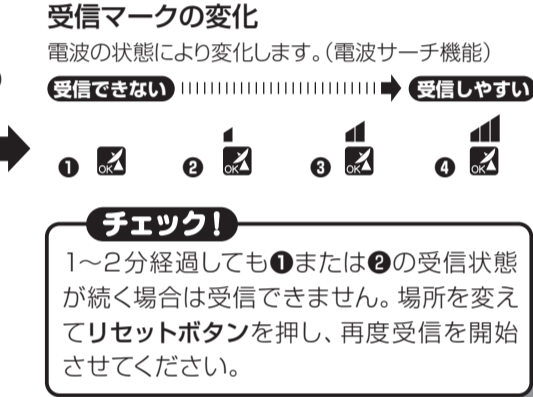


標準電波を利用しないで、手で時刻を合わせる時には、電波を受信できない場合の「手動での時刻の合わせ方」をお読みください。

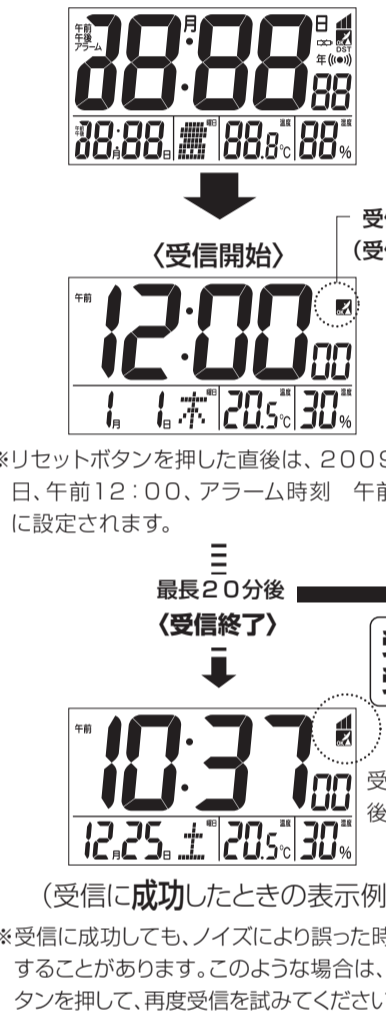
電波の受信しやすい窓際などに置いてください。

- 裏ぶたを開く
 - 電池を入れる
 - リセットボタンを押す
「ピ」と鳴り、受信マークが点滅して受信を開始します。
電池を入れた後は、必ずリセットボタンを押してください。
 - 裏ぶたを閉じる
 - 受信開始から20分後に受信結果を確認する
受信には最長で20分程度時間がかかります。
受信マークで受信結果を確認してください。
→「受信の流れと表示」参照
- ◎ 受信中はボタンに触れないでください。

電波受信中のボタン操作について
電波の受信中に進むまたは戻るボタンを押すか、時刻合わせボタンを約2秒間押し続けると、受信マークが消灯し受信を中止します。



【受信の流れと表示】 (リセットボタンを押した直後)



※リセットボタンを押した直後は、2009年1月1日、午前12:00、アラーム時刻 午前6:00に設定されます。

※受信に成功しても、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。このような場合は、リセットボタンを押して、再度受信を試みてください。

アドバイス

テレビ、蛍光灯などの家電製品やパソコンなどのOA機器からのノイズにより、電波を受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。場所を変えてからリセットボタンを押して、再度受信を試みてください。

電波を受信できない場合

- 朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておく受信できる可能性が高くなります。
 - 場所を変える／受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわや、取扱説明書の日本地図を参考にして、なるべく時計の正面または裏面が電波の送信所に、向くように置き直し、リセットボタンを押して結果を確認します。
- 受信できない場合は、下記操作でご使用になれます。
- 手動での時刻の合わせ方
- (1)時刻合わせボタンを西暦年が点滅するまで約2秒間押し続けます。
 - (2)西暦年、月、日、時刻(時、分)の順に設定します。
 - 進むまたは戻るボタンを押して数値を合わせます。
 - 進むまたは戻るボタンを押し続けると早送りになります。
 - 時刻合わせボタンを押すとつぎのステップに移ります。
- ※電波受信機能が「ON」の場合、手動で時刻合わせをしても、自動受信を行い、受信に成功すると自動的に時刻を修正します。
- ◎ 電波受信機能のON/OFF操作
- ※約30秒間ボタン操作をしないと、表示されている時刻に設定して、手動時刻合わせを終了します。
- ※電波を受信できない場合の時間精度は、平均月差±30秒になります。

電波を受信しにくい環境

- つぎのような場所では受信できない場合や誤った時刻を表示することがあります。
- 工事現場、空港の近くや交通量の多い所など電波障害の起きる所
 - 金属製の雨戸やブラインドの近く
 - ビルの地下など
 - 高圧線、テレビ塔、電車の架橋近く
 - 朝夕の時間帯、雨天のとき
 - 家電製品やOA機器の近く
 - スチール机等の金属製家具の上や近く

海外でのご使用について

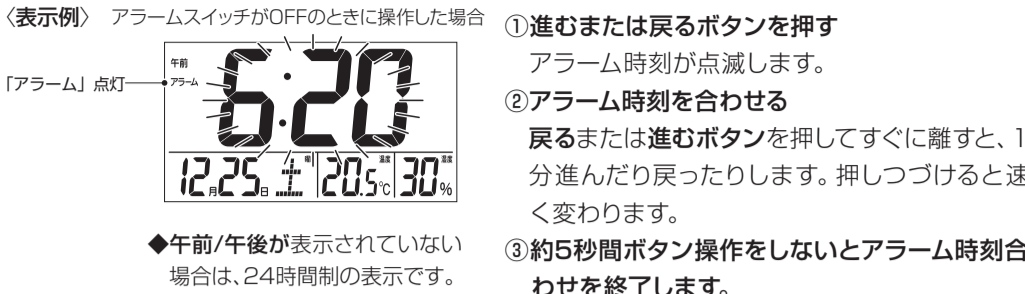
この時計は、日本以外の標準電波は受信できません。海外で使用する際には、電波受信機能を無効にして手動で時刻を合わせてお使いください。電波受信機能が有効になっていると、まれに日本の標準電波を受信したり、ノイズにより誤った時刻を表示することがあります。

標準電波の送信停止について

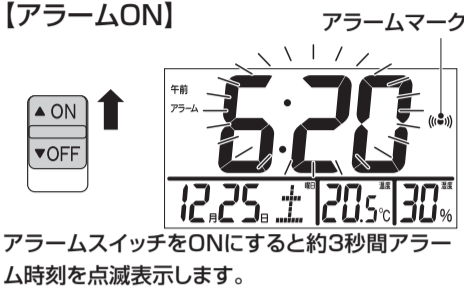
送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状況については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

2 アラーム機能の使い方

アラーム時刻の合わせ方



アラームのON/OFF設定



- ①進むまたは戻るボタンを押す
アラーム時刻が点滅します。
- ②アラーム時刻を合わせる
戻るまたは進むボタンを押してすぐに離すと、1分進んだり戻ったりします。押しつづけると速く変わります。
- ③約5秒間ボタン操作をしないとアラーム時刻合わせを終了します。

アラームスイッチをONにすると約3秒間アラーム時刻を点滅表示します。

アラームオートストップ機能

アラームは約2分間鳴りつづけた後、自動的に終了します。

スヌーズ機能

アラームが鳴っているときに、スヌーズボタンを押すと、アラームマーク(☀)が点滅し、アラームが約5分間停止後、また鳴りだします。この操作は7回まで繰り返すことができます。8回目にスヌーズボタンを押すとアラームは停止し、アラームマーク(☀)は点灯表示になります。

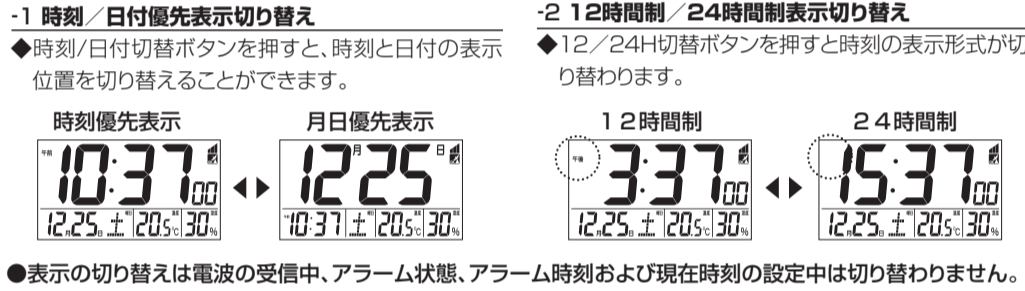
アラームご使用上の注意

オートストップまたはスヌーズ操作によりアラームマーク(☀)が点灯表示のときは、アラームスイッチはONのままです。翌日のアラーム時刻になるとアラームが鳴ります。

アラーム音の確認方法 (アラームモニターボタン)

アラームモニターボタンを押すとアラーム音が約2分間鳴ります。アラームが鳴っているときに再度アラームモニターボタンを押すと停止します。

表示の切り替え



●表示の切り替えは電波の受信中、アラーム状態、アラーム時刻および現在時刻の設定中は切り替わりません。

温度・湿度表示

センサーが時計内部にあるため、表示に反映するまでには時間がかかります。

測定範囲を超えたときの表示とその意味

温度「HH.H」50℃より高温 「LL.L」-9.9℃より低温

湿度「HH」95%を超えている 「LL」20%未満 「--」測定不能(温度が5~50℃の範囲外)

設置場所について

空気がよく循環する場所に設置してください。直射日光の当たる場所や冷暖房器具、加湿器、除湿器などの近くを避けてください。

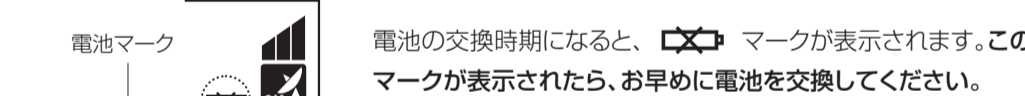
温室、サウナ、浴室、冷蔵庫、車の中では使用しないでください。

湿度は設置場所により変わります

湿度は「空気のかたまり」として移動するため、同じ室内でも風通しのよいところ悪いところでは違いがでます。

◎本製品は室内用です。室内の温度・湿度計測以外の目的では使用できません。また厳密な温度・湿度管理を行う用途には適していません。

電池の交換時期お知らせ機能



電池の交換について 早めに交換して液もれを防ぎましょう

- 電池からの液もれにより、時計の修理や家具などの修繕に費用が発生することがあります。電池からの液もれや発熱、破裂を防ぐために、つぎのことをお守りください。
- 液晶表示が薄くなった、アラーム音が鳴らなくなったときは、速やかに指定の電池に交換するか、電池を取り出す。
 - マンガン乾電池とアルカリ乾電池を混ぜて使用しない。
 - 動いていても1年に1回定期的に交換する。
 - 電池の⊕⊖を逆に入れない。

電波受信機能のON/OFF操作

受信機能 OFF(無効にして手動で時刻を合わせる) リセットボタンを約1秒間隔で3回押しください。

受信機能 ON(有効にして受信を開始する) 戻るボタンを押しながら、リセットボタンを押すと「ピ」と鳴って受信を開始します。その後戻るボタンを離してください。

○「ピ」と鳴ったらすぐに押してください。

○受信機能がOFFになると「ピ」と鳴りません。

○年月日と時刻は手動で合わせてください。

○定期的に受信して標準時刻に合わせます。

◎操作のタイミングによっては、ON/OFFが切り替わらないことがあります。このようなときには操作を繰り返してください。

◎工場出荷時の設定は、電波受信機能は「ON」です。

強制受信とリセット操作

強制受信ボタン

場所を移動したときなど電波の受信を試みたいときに使います。受信に失敗した場合でも日付・時刻表示を継続します。

- 受信機能が無効のときは機能しません。
- 手動で時刻合わせをしているときやアラーム時刻を合わせているときは機能しません。

リセットボタン

電池を入れた直後や静電気などにより誤作動したときに押します。

リセット直後は、2009年1月1日午前12:00、アラーム時刻は午前6:00に初期化されます。

- 受信機能が有効になっているときは、受信を開始します。